

令和3年度(2021年度)厚生常任委員会管内視察の概要

- 1 視察日 令和3年(2021年)8月19日(木)
- 2 視察者 厚生常任委員(8名)
橋口海平(委員長)、高島和男(副委員長)、藤川隆夫、
池田和貴、西 聖一、内野幸喜、池永幸生、城戸 淳

3 視察の概要

(1) KMバイオロジクス株式会社 菊池研究所(菊池市旭志)

ワクチンをはじめとした生物学的製剤の研究開発を行うKMバイオロジクス(株)では、昨年5月から新型コロナウイルス感染症に対する不活化ワクチンの開発を開始し、国内産ワクチンの供給に向け、着々と準備を進めている。

今回の視察では、開発中の不活化ワクチンの概要や実用化に向けたスケジュールなどについて説明を受けた後、新型インフルエンザ用のワクチン製造設備を改造中である原液製造施設の見学を行った。

同社が開発するのは、ウイルスの感染性や毒性をなくした不活化ワクチンであり、これまで製造実績のあるインフルエンザワクチンや4種混合ワクチンと同様の製法で、安全性が高いものとの説明があった。また、現在、国内の第Ⅰ相/第Ⅱ相の臨床試験におけるワクチン接種が終わり、今秋から最終段階の臨床試験に進む予定。生産設備は来春には稼働可能となり、来年度中の不活化コロナワクチン実用化を目指したいとの説明があった。



(2) 県民広域接種センター（益城町）

県民広域接種センターは、新型コロナウイルスワクチンの接種を迅速に進めるため、県が運営する大規模接種会場で、今年8月2日からグランメッセ熊本内に開設された。仕事などで平日の昼間に接種が受けられない方のため、開設時間を平日18時～21時、土日12時～18時とし、11月末まで開設する予定である。

今回の視察では、開設時間の前に、職員の案内により各ブースのスタッフの役割等の説明を受けながら会場見学を行った後、モニターの資料により運営体制や予約の状況等についての説明を受け、意見交換を行った。

当センターは市町村の一般接種を補完する目的があること、対象は県内全域であるが、予約者の状況は、熊本市、合志市、益城町、菊陽町など熊本都市圏の市町で全体の8割を超えるとの説明があった。また、開設後予約者が殺到し、8月途中に予約枠の拡大をしたところだが、今後も予約数を確保していくため、接種体制の拡充を図っていくとの説明があった。

